

文化の薫り高いかごしま形成事業 応募書類記載要領

応募書類については、本記載要領について全て確認の上，作成をお願いします。

助成事業の選定は，審査基準に基づき，原則，応募書類をもとに行います。
以下を参考に，事業の魅力が存分に伝わるよう，作成をお願いします。

◆ポイント◆

- ☐ 誰が見ても事業内容がひと目で分かるように
- ☐ 何を目指しているのか，どの部分がポイントなのかを分かりやすく
- ☐ 審査基準に合致し，アピールできる点を明確に記載
新たな取組や独自の工夫，過去採択された団体や既存事業を申請する団体等は，
前年度の成果や課題を踏まえた工夫や改善点を明記する など
※ 審査基準は「募集要項」参照
- ☐ ホームページやSNSを通じて，イベント等のPR・情報発信を広く外部へ行うことを記載
- ☐ 来場者アンケートをとり，事業継続のため，改善につなげることを明記

◆作成上の注意事項◆

- ☐ 作成する際の用紙は，A4サイズに印刷できるレイアウトとなるようにしてください。
- ☐ 各項目の記載においては，箇条書きを用いるなど，可能な限り簡潔な記載となるよう努めてください。
- ☐ 様式の枠は適宜調整し，文字の見切れ等がないようにしてください。
- ☐ ホッチキスや付箋は使わないでください。
- ☐ カラー，モノクロのいずれで作成いただいても差し支えありませんが，審査は応募書類をモノクロ印刷した書類を用いて行います。
- ☐ 可能な限りパソコンでの作成をお願いします（手書きで作成する場合は丁寧な記載をお願いします）。

鹿児島県知事 ○○ ○○ 殿

県知事名「塩田 康一」を
記載

住 所 〒○○○-○○○
○○市○○町○番○号

申請者 ○○○○音楽団

申請者が個人の場合は記載不要

*代表者 役職名 団長
氏 名 ○○ ○○

令和7年度文化の薫り高いかごしま形成事業応募書

このことについて、文化の薫り高いかごしま形成事業を実施したいので、下記のとおり、関係書類を添えて応募します。

記

- 1 応募事業 ※ 応募する事業に「○」を記入してください。

☐	① 鑑賞機会提供支援
	② 活動継承支援
	③ 観光、まちづくり等との連携支援
	④ 人材育成支援（国内外で活躍する人材の育成）
	⑤ 人材育成支援（若者の技術の向上）
	⑥ 人材育成支援（指導者の指導力等の向上）

応募事業に該当する分野に
「○」（1つのみ）。

- 2 関係書類

- (1) 事業計画書（第1号様式別紙1-1～4のいずれか）
(2) 収支予算書（第1号様式別紙2-1又は2）
(3) 添付書類

- 3 確認事項 ※ 内容を確認の上、チェックをしてください。

チェック欄	
☒	暴力団及びこれに準ずる団体が関わっていない。

内容を確認の上
チェック

※ 関わっている場合、本助成事業の支援対象となりません。

<担当者連絡先> ※必ず連絡がとれるところを記入してください。

住 所	(〒○○○-○○○) ○○市○○町○番○号		
氏 名	○○○ ○○		
T E L	○○○-○○○-○○○	F A X	○○○-○○○-○○○
e - m a i l	○○○○○○○@○○.○○.○○		

※ 申請者が個人の場合、*印は記載不要。

確実かつ速やかに受信・確認が可能な
ものとしてください。

【応募用】第1号様式 別紙1-1

事業計画書

○	①鑑賞機会提供支援「文化芸術に触れる機会の少ない子どもたちの文化芸術活動や鑑賞機会の充実に向けた取組」
	②鑑賞機会提供支援「子どもたちの文化芸術活動や鑑賞機会の充実に向けた取組」
	③観光、まちづくり等との連携支援
	④人材育成支援（国内外で活躍する人材の育成）

応募する事業区分に「○」を記載（1つのみ）

※該当するものに○

申請者	応募書（第1号様式）に記載した申請者と同じ団体名を記載（個人の場合は個人名）	文化芸術の分野	応募事業に該当する分野を選択
(①・③に応募し、かつ地域伝統芸能に該当する場合) 地域伝統芸能名		地域伝統芸能に該当する場合のみ、 地域伝統芸能名を記載	

1 事業内容

(ふりがな)	〇〇〇こうえん		
(1) 事業名	〇〇〇公演		
(2) 事業	(趣旨・目的)		
	応募する事業区分の目的等を踏まえ、応募する事業の趣旨及び目的を記載		
	(実施時期)	(実施施設名（市町村））	(実施回数・日数)
	令和〇年〇月〇日（日）	〇〇ホール（〇〇市）	1回・1日間

の
目
的
及
び
内
容
等

(内容)

・応募する事業の内容（公演、展示会、ワークショップ、コンテスト、講習会等）、実施方法や手法、参画者（関与者）等について、分かりやすく、実現可能かどうか分かるように、具体的・簡潔に記載（別紙不可）

・その他、以下を箇条書き等で簡潔に記載

SNS等を通じた情報発信方法

記録費がある場合は、活用方法を記載

来場者アンケートをとる場合、その旨記載

前年度採択された団体や既存事業を申請する団体等は、前年度の成果や課題を踏まえ、工夫や改善点を明記

【記載例】

・〇〇〇による、〇〇〇に関する〇〇〇を、〇〇〇を目的に実施する。

・〇〇〇の協力を受け、〇〇〇に関して〇〇〇する、また、〇〇〇では、〇〇〇を用いて〇〇〇するなど、〇〇〇を〇〇〇する。

(事業実施スケジュール)

応募事業の実施スケジュールを具体的に記載

【記載例】

・〇月～〇月 練習（全10回）

・〇月 ポスター・チラシ制作、広報活動実施

・〇月〇日 本番リハーサル

・〇月〇日 公演

・〇月～〇月 事業実施後の振り返り、精算処理等

(事業の実施主体となる事業者等（申請者含む）)

※ 応募事業の実施主体となる団体等名及び役割を記載

団体名又は氏名	役割
〇〇会	事業内容の企画・広報・運営
〇〇〇 〇〇	事業のゲスト出演者
〇〇協会	当日のボランティア

(事業に係るその他参画事業者等)

※ 応募事業に参画する外部の団体等名及び役割を記載

※ 事業区分③は、観光・商工団体などの公的団体との連携を記載（必須）

団体名又は氏名	役割
〇〇市	後援、広報協力（予定）
〇〇町	後援、広報協力（予定）
株式会社〇〇	協賛、広報協力（予定）

(期待される効果)

応募事業を実施することにより、どのような社会的な影響や効果が期待されるかを記載（別紙不可）

【記載例】

・〇〇を開催することによって、〇〇に鑑賞機会を提供し、〇〇へとつなげる。

目標集客（参加者）数

人

応募事業での目標集客（参加者）数を記載
（事業区分④で、発表会等を行う場合は、参加者数と集客数をそれぞれ記載）

【応募用】第1号様式 別紙1-1

2 申請者の概要

申請者		応募書（第1号様式）に記載した申請者について記載	* 代表者	職 名	応募書（第1号様式）に記載した申請者について記載 ※申請者が個人の場合、 *印は記載不要
住 所 (所在地)	〒		電 話	氏 名	
			ホームページ アドレス		
設立年月日 又は生年月日			* 構成員 (会員) 数		名
* 組織	申請者が団体の場合、団体の役職員について記載 ※既存の資料がある場合は、別紙可				
沿革 (活動・実績を含む)	申請者の経歴や活動歴、実績等について記載。 ※既存の資料がある場合は、別紙可 【記載例】 平成〇年〇月 〇〇設立 平成〇年〇月 〇〇〇〇開催 〇〇による〇〇を実施。来場者数〇〇人 平成〇年〇月 〇〇〇〇賞を受賞 〇〇による〇〇を実施。来場者数〇〇人 令和〇年〇月 〇〇〇〇開催 〇〇による〇〇を実施。来場者数〇〇人 令和〇年〇月 〇〇〇〇開催 〇〇による〇〇を実施。来場者数〇〇人				

※1 申請者が個人の場合、*印は記載不要。

※2 沿革欄については、既存の資料がある場合は、「別添のとおり」と記入して資料を添付することも可。

※3 以下の書類を添付すること。

☐	団体の定款・規約等 ※ 申請者が個人の場合（①鑑賞機会提供支援）は住民票
☐	県税について未納がないことの証明 ※ 団体に納税義務がない場合、団体の代表者個人のものを添付
☐	活動内容が分かる書類（実績報告、パンフレット、チラシ、写真、等）
☐	構成員（会員）名簿（謝金・旅費・賃金を計上する場合）

添付の上、○を入れる

【応募用】第1号様式 別紙1－2

事業計画書
(②活動継承支援)

申請者	応募書(第1号様式)に記載した申請者と同じ団体名を記載	文化芸術の分野	応募事業に該当する分野を選択して
(地域伝統芸能に該当する場合) 地域伝統芸能名		地域伝統芸能に該当する場合のみ、 地域伝統芸能名を記載	

1 事業内容

(ふりがな)	あどばいざーのしょうへいおよびいべんとかいさい・しゅうち
(1) 事業名	アドバイザーの招へい及びイベントの開催・周知
(2) 事業の趣旨・目的及	(趣旨・目的)
	応募する事業区分の目的等を踏まえ、応募する事業の趣旨及び目的を記載
	(事業実施に係る現状認識や課題、必要性)
	団体の現状や課題、事業を実施する必要性について具体的に記載
	(内容)
	・ 応募する事業の内容（講習会・交流会の開催、活動周知等）実施方法や手法、参画者（関与者）等について、<u>分かりやすくかつ実現可能かどうか分かるように、具体的に記載（別紙不可）</u> ・ 記録費がある場合は、活用方法を記載 ・ 前年度採択された団体や既存事業を申請する団体等は、前年度の成果や課題を踏まえ、工夫や改善点を明記 【記載例】 ・ ○○○による、○○○に関する○○○を、○○○を目的に実施する。 ・ ○○○の協力を受け、○○○に関して○○する。また、○○○では、○○を用いて○○するなど、○○を○○する。

(事業実施スケジュール)

応募事業の実施スケジュールを具体的に記載

【記載例】

- ・ ○月 アドバイザーとの打ち合わせ・調整
- ・ ○月○日 アドバイザー及び会員による活動継承のための検討会議
 - ・ 会員の意識改革
 - ・ 新規会員獲得のためのイベント開催の検討
 - ・ 団体の活動やイベントを周知するための方法や広報ツール作成の検討 等
- ・ ○月～○月 広報ツールの作成・一般公開
- ・ ○月○日 新規会員の獲得のためのイベントの開催
- ・ ○月～○月 事業実施後の振り返り、精算処理等

(期待される効果)

応募事業を実施することにより、どのような影響や効果が期待され、団体の活動継承につながるかなどを記載

(事

【1年目】

※ 応募事業を実施後1年目の団体の活動計画及び数値目標を具体的に記載

活動計画	目標値
【記載例】 ・ 一般県民を対象とした公演の開催 (公演の一般鑑賞者目標数) ・ 作成した広報ツールの閲覧者数の上昇 ・ 新規会員の獲得	年1回 (○人) 閲覧者数 ○人以上 ○人

【2年目】

※ 応募事業を実施後2年目の団体の活動計画及び数値目標を具体的に記載

活動計画	目標値
【記載例】 ・ 一般県民を対象とした公演の開催 (公演の一般鑑賞者目標数) ・ 作成した広報ツールの閲覧者数の上昇 ・ 新規会員の獲得	年2回 (○人) 閲覧者数 ○人以上 ○人

【3年目】

活動計画	目標値
【記載例】	

・ 一般県民を対象とした公演の開催 （公演の一般鑑賞者目標数） ・ 作成した広報ツールの閲覧者数の上昇 ・ 新規会員の獲得	年２回 （○人） 閲覧者数 ○人以上 ○人
○ 上記目標達成度の把握方法，検証方法 目標値を把握する方法や検証方法について記載	

【応募用】第1号様式 別紙1－2

2 申請者の概要

申請者		応募書（第1号様式）に記載した申請者について記載	代表者	職 名	応募書（第1号様式）に記載した申請者について記載
住 所 (所在地)	〒		電 話	氏 名	
			ホームページ アドレス		
設立年月日 又は生年月日			構成員 (会員) 数		名
組 織	〔役職名・氏名〕 会長 ○○○ ○○ 副会長 ○○ ○○ 会計 ○○ ○○○ 監査 ○○ ○○ 事務局長 ○○ ○				
	団体の役職員について記載 ※既存の資料がある場合は、別紙可				
沿 革 (活動・実績を含む)	申請者の活動歴や実績等について記載 ※既存の資料がある場合は、別紙可				
	【記載例】 平成○年○月 ○○設立 平成○年○月 ○○○○開催 ○○による○○を実施。来場者数○○人 平成○年○月 ○○○○賞を受賞 ○○による○○を実施。来場者数○○人 令和○年○月 ○○○○開催 ○○による○○を実施。来場者数○○人 令和○年○月 ○○○○開催 ○○による○○を実施。来場者数○○人				

※1 沿革欄については、既存の資料がある場合は、「別添のとおり」と記入して資料を添付することも可。

※2 以下の書類を添付すること。

☐	団体の定款・規約等
☐	県税について未納がないことの証明 ※ 団体に納税義務がない場合、団体の代表者個人のものを添付
☐	活動内容が分かる書類（実績報告、パンフレット、チラシ、写真、等）
☐	構成員（会員）名簿（謝金・旅費・賃金を計上する場合）

添付の上、○を入れる

【応募用】第1号様式 別紙1－3

事業計画書
(⑤人材育成支援(若者の技術の向上))

応募事業に該当する分野を選択

1 申請者概要

ふりがな			文化芸術 の分野	アイテムを選択してください。	
申請者	応募書(第1号様式)に記載した申請者と 同じ氏名を記載				
生年月日 (満 歳)	応募書(第1号様式)に記載した申請者について記載				
申込者現住所 (住民登録地)					〒 (〒)
連絡先					TEL
現所属先 (学校、勤務先等)					
所在地 連絡先					〒 TEL
ふりがな	推薦者(推薦書を記入した者)について記載				
推薦者氏名					
推薦者の 所属・役職					
連絡先	TEL				
県 外 在 住 者 の 場 合	ふりがな	応募書(第1号様式)に記載した申請者が県外在住の場合に記載			
	保護者 氏名				
	保護者 現住所				〒
	連絡先				TEL

ふりがな	〇〇〇〇〇こんくーる	
コンテスト ・講習会等名	〇〇〇〇〇コンクール	
コンテスト ・講習会等 会場名	〇〇〇ホール(〇〇県〇〇市)	
コンテスト ・講習会等 開催日時	令和〇年〇月〇日(火)	1次審査
	令和〇年〇月〇日(木)	2次審査
	令和〇年〇月〇日(土)	最終審査
コンテスト ・講習会等 主催者名	〇〇〇〇協会	

【応募用】第1号様式 別紙1－3

2 事業内容

(1)本助成事業への申請の動機	コンクールへの参加，講習会等の受講の動機や，どのような成果を残したいかなど，具体的に記載
(2)コンテスト・講習会等の内容	参加するコンクールや講習会等の内容・スケジュール等を具体的に記載
(3)スケジュール	コンクールや講習会等の参加にあたる申請者本人のスケジュールを具体的に記載 【記載例】 ・ ○月 コンクール参加申込み ・ ○月○日 県外在住講師○○○○氏によるコンクール対策のレッスンを受講（○○県○○市） ・ ○月○日 コンクール1次審査 ・ ○月○日 コンクール2次審査 ・ ○月○日 県外在住講師○○○○氏によるコンクール対策のレッスンを受講（○○県○○市） ・ ○月○日 コンクール最終審査 ・ ○月～○月 参加後の振り返り，精算処理等
(4)期待される効果	今回のコンクールや講習会等の参加により期待される成果や，今後の芸術活動にどのように活かしていくのかなど，具体的に記載
(5)コンテスト・講習会等参加後3年の活動計画及び目標	【1年目】 コンクールや講習会参加後1年目の活動計画や目標等を具体的に記載
	【2年目】 コンクールや講習会参加後2年目の活動計画や目標等を具体的に記載
	【3年目】 コンクールや講習会参加後2年目の活動計画や目標等を具体的に記載

芸術活動の履修歴・業績・受賞歴等	申請者の経歴や活動歴、実績等について記載 【必須記載事項】 ・ 小学校以上の学歴（芸術活動歴も合わせて記載） ・ 職歴（芸術活動歴も合わせて記載） ・ 芸術活動の業績・受賞歴	
	【記入例】	
	平成○年○月	○○市立○○小学校卒業 （小学○年より○○音楽クラブ（楽器○○）で活動）
	平成○年○月	○○市立○○中学校卒業 （3年間吹奏楽部員（楽器○○）として活動）
	平成○年○月	○○県立○○高等学校卒業 （3年間吹奏楽部員（楽器○○）として活動）
	平成○年○月	○○大学○○学部○○学科入学 （○○コース○○専修）
	平成○年○月	○○○コンクールにて○○○○賞を受賞
	平成○年○月	○○○大会にて○○○○賞を受賞
	平成○年○月	○○大学○○学部○○学科卒業
	平成○年○月	○○○○○入社
	平成○年○月～	○○音楽団に入団（楽器○○）し現在まで活動を継続。
	令和○年○月	○○○講習会を受講
	令和○年○月	○○○にて○○コンサートを実施 （会場：○○○（○○市），入場者○○人）
	令和○年○月	○○○大会にて○○○○賞を受賞
	令和○年○月	○○○にて○○コンサートを実施 （会場：○○○（○○市），入場者○○人）
令和○年○月	○○○コンクールに参加 最終選考にノミネートされる	

※以下の書類を添付すること。

☐	住民票	※ 県外在住者は保護者の住民票
☐	在学証明書	※ 学生の場合のみ
☐	推薦書	
☐	誓約書	
☐	県税について未納がないことの証明	
☐	活動歴や過去のコンテスト等での受賞歴等が分かる書類（パンフレット，チラシ，写真，等）	

添付の上，○を入れる

【応募用】第1号様式 別紙1-4

事業計画書
(⑥人材育成支援(指導者の指導力等の向上))

応募事業に該当する分野を選択

ふりがな	応募書(第1号様式)に記載した申請者と同じ氏名を記載	文化芸術 の分野	アイテムを選択してください。
申請者			

1 事業内容

ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇こうしゅうかい
講習会等名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇講習会
講習会等 会場名 (所在地)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇会館(〇〇県〇〇市)
講習会等 開催日時	令和〇年〇月〇日(日)(第1回目) 令和〇年〇月〇日(土)(第2回目) 令和〇年〇月〇日(火)(第3回目) 令和〇年〇月〇日(日)(第4回目)
講習会等 主催者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇協会
ふりがな	〇〇 〇〇〇
講習会等 参加者名	〇〇 〇〇〇
講習会等 の内容	参加する講習会等の内容・スケジュール等を具体的に記載
講習会等 参加趣旨	講習会等への参加の趣旨や目的について具体的に記載
スケジュール	講習会等の参加にあたる参加者本人のスケジュールを具体的に記載 【記載例】 ・〇月 講習会参加申込み ・〇月〇日 講習会(第1回目)受講 ・〇月〇日 講習会(第2回目)受講 ・〇月〇日 講習会(第3回目)受講 ・〇月〇日 講習会(第4回目)受講 ・〇月～〇月 参加後の振り返り、精算処理等

期待される 効果	今回の講習会等の参加により期待される成果や、今後の指導者等としての活動にどのように活かしていくのかなど、具体的に記載
講習会等参加後3年の 活動計画及び目標	【1年目】 講習会参加後1年目の活動計画や目標等を具体的に記入
	【2年目】 講習会参加後2年目の活動計画や目標等を具体的に記入
	【3年目】 講習会参加後2年目の活動計画や目標等を具体的に記入

【応募用】第1号様式 別紙1-4

2 申請者の概要

申請者		応募書（第1号様式）に記載した申請者について記載	*代表者	職名	応募書（第1号様式）に記載した申請者について記載 ※申請者が個人の場合、 *印は記載不要
住所 (所在地)	〒		氏名	氏名	
			電話	電話	
設立年月日 又は生年月日			ホームページ アドレス		
			*構成員 (会員)数		
*組織	[役職名・氏名] 会長 ○○○ ○○ 監査 ○○ ○○ 副会長 ○○ ○○ 事務局長 ○○ ○ 会計				申請者が団体の場合、団体の役職員について記載 ※既存の資料がある場合は、別紙可
講習会等参加者の芸術活動歴・業績・受賞歴等（指導者としての活動歴も含む）	講習会等参加者の経歴や活動歴、実績等について記載 【記入必須事項】 ・芸術活動の業績・受賞歴 ・指導者等としての実績 【記入例】 【芸術活動の業績・受賞歴】 平成○年○月 ○○大学○○学部○○学科入学（○○コース○○専修） 平成○年○月 ○○○コンクールにて○○○○賞を受賞 平成○年○月 ○○○大会にて○○○○賞を受賞 平成○年○月 ○○大学○○学部○○学科卒業 平成○年○月 ○○○○○入社 平成○年○月～ 平成○年○月 ○○音楽団に入団（楽器○○）し活動。 平成○年○月 ○○○にて○○コンサートを実施 (会場：○○○（○○市），入場者○○人) 平成○年○月 ○○○大会にて○○○○賞を受賞 平成○年○月 ○○○にて○○コンサートを実施 (会場：○○○（○○市），入場者○○人) 【指導者としての実績】 平成○年○月～ ○○音楽団の指導者として，現在まで活動を継続。 ・○○○○○大会出場。 ・年○回，○○にてコンサートを開催。 ・○○○コンクールにて○○○○賞を受賞。 平成○年○月～ ○○の外部指導者として，現在まで活動を継続。 ・○○○○○コンクールにて○○賞を受賞。 ・年○回，○○にてコンサートを開催。				

※1 申請者が個人の場合、*印は記載不要。

※2 以下の書類を添付すること。

☐	住民票（県外在住者は保護者の住民票）
☐	県税について未納がないことの証明 ※ 団体に納税義務がない場合、団体の代表者個人のものを添付
☐	活動歴や過去の等での受賞歴等が分かる書類（パンフレット，チラシ，写真，等）

添付の上，○を入れる

④ 人材育成支援(国内外で活躍する人材の育成):助成対象経費の2分の1以内(上限額:50万円)

收支預算書

⑥ 人材育成支援(指導者の指導力等の向上):助成対象経費の2分の1以内(上限額:10万円)